

Year: 2013

Location: Japan

Program:

# 仙石原の家



旗竿敷地に建つ木造2階建ての住宅。敷地に対し正方形（30m×30m）のヴォリュームを配置し、その中に15m直径の円を中庭として切り抜いた。その中庭を中心に居室が配され、玄関に立つと放射状に配置された居室が見える。また、リビングの8枚の引戸を開け放つことにより、中庭とリビングが一体として使えるように考えた。中庭に対し開放するよう放射状に配置された構造は断面75mm×350mmの集成材とし、柱と梁が一体になったL字形フレームとした。L字形フレーム先端の庇が（同じ三角形）サッシ天端（2.4m）を軸に回転し室内の天井高さ（2.4mから7.45m）によって、庇角度が変わるようにした。結果、庇が波のように高さが変わる屋根形状をつくった。